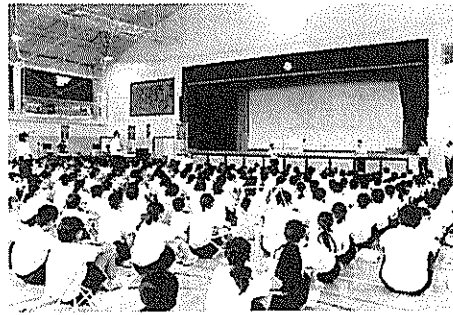


さいたま市立中で 学校キャラバン

戦略的広報推進協議会

国土交通省や建設業団体などで組織する建設産業戦略的広報推進協議会（事務局・建設業振興基金）は、8月31日にさいたま市立七里中学校の生徒約260人を対象に「学校キャラバン」を実施した。ドローンの飛行見学や建物内のバーチャルリアリティ（VR）体験、ロボットスーツの装着体験など、体験型のプログラムで建設業の魅力をアピールした。写真。

学校キャラバンは、建設業



の社会的な役割やものづくりのすばらしさを、将来の担い手である生徒に語りかける交流プログラム。建設産業のイメージアップを図る戦略的な広報活動の一環として、20

14年度から継続して取り組んでいる。

中学校として3例目、通算で16回目となる開催となる今回の学校キャラバンは、全国低層住宅安全労務協議会（女性技術者の講話）、埼玉県立いずみ高等学校（ミニ吊り橋を使った土木講座）、J M（ドローン飛行見学や建物内のVR体験）、大和ハウス工業（ロボットスーツの装着体験）、埼玉県建設業協会（災害対応・写真パネル展示）、埼玉県立大宮工業高等学校（トラス構造をつくる建築講座）といった関係者の協力を得て開催した。